京城新報

面及洞に關する舊慣制度（一）

（朝鮮總督府調査）

其一　面洞に關する古代の制度

面洞に關する古代の制度は漠として捕捉し難く殊に李朝以前の制度に於ては文獻の徴すへきものなきを以て之を窺知するに由なし今李朝國初以來の制度として二三文獻に付き調査せし所のものを擧ぐれば左の如し

一、開國七十八年睿宗の朝に編纂せられたる經國大典の所載によれば五家を以て統となし統に統主を置き京外は毎五統に里正を置き京に在りては毎一坊に管領を置き面には勸農官を置くとあり

二、磻溪隨録（開國二百三十餘年仁祖の時代柳馨遠の著述）所載の鄕里の制に依れば五家を以て統と爲し統長あり十統を里と爲し里正あり毎十里を京に在りては坊と爲し坊正を置き外に在りては郷と爲し郷正を置くとあり其註に曰く郷は今の面なり又曰く毎郷に稿夫あり今の勸農なりとは制度の行はれたる時代詳ならずと雖も其註に於ける面と郷及稿夫と勸農との對照に徴するに李朝の國初若くは其以前の制ならんか

降て開國二百八十四年肅宗の朝備邊司の發したる五家統の節目なるものゝ左の如し

一、凡そ民戸は其の隣聚に隨ひ家口の多寡財力の貧富に論なく五家毎に一統と爲し五家の中地位及年齢共に高きものを以て統首と爲し統内の事を掌る

一、凡そ五家は聚居して隣を作り耕耘相助け出入相守り疾病相救ひ召呼相應すべし決して從前の如く獨戸にて離居することなく以て相保し相資すべし

一、五家毎に統を作るに當り若し餘戸ありと五の數に達せさるときは其統に附屬せしむべし

一、里は五統乃至十統より成るものを小里となし十一統乃至二十統に成るものを中里となし二十一統乃至三十統に成るものを大里となし又里正里有司各一人を差定して統首の制の如くし以て一里の事を掌る（未完）

雜錄

●人生の至寶　高橋天浪投

美田萬頃此れ以て人生の至寶たるか金銀財貨此れ以て人生の至寶たるが蓋し美田万頃を有すれば驕奢の心を長じて其德を汚し子孫守る能はされば人の有と爲にのみ金銀財貨亦然り然らば何をか以て人生の至寶と爲す曰く已れを知り其分に安じ清廉潔白に一家和樂愛に以て天壽を全ふするに在り蓋し人の已れを知りて其分に安すれば人の怨となるらず清廉潔白ならば自ら德高くなり行正し故に人の尊敬する所と爲りて名を後世に殘すを得べし彼の持し難くして其德を汚すの美田財貨に比し其輕重如何ぞや西人曰く財は得易すくして愛は難しと古人曰く財は未なり德は本なりと是れに由て之を推せば美田財貨は小人の寶とするものにして識者を以て寶と爲すものに非ず然るに近世の人多くは美田財貨を得んと欲して其分を誤り利害の爲めに父子兄弟相爭ひて其親愛に反き貪欲卑屈の爲めに其德を汚すの徒あり豈愼まざるべけんや

新講談豫告

引續き永々御愛讀の榮を賜はりし本紙所載の小説「召使れ初」も愈々近日大團圓を告げ申候に就ては之れに代る讀物何彼と詮議の結果東都講談界の巨匠小金井蘆洲の口演に係る俠譚

「深川庄八正國」

の傳を掲載する事に致し候同人の豪勇俠氣は眼中王侯貴人なく義に因つては孝子節婦の爲めに氣を吐くこと千丈長夜燈下の讀物として二なきものと存じ候へは相變らず御愛讀下さる可願上候

新講談豫告

西洋商話

義金募集で當つた商略

或る大火の後機敏なる荒物屋さんは世人の同情心未だ消え失せぬ内にと、早くも一週間を限りて罹災義捐金募集の大賣出しを斷行する事に定め、總賣上金高の二割を寄附する旨を廣告したところが、新聞の記事に噂に罹災民の悲惨なる窮狀を傳ふる折からとて、意外に商店の名を弘めしのみならず、諸方より買物客續々と參集り來つて、首尾克く一擧兩得の目的を果した。

文苑

●歌　雲遊霞宿堂主人

○よべよりの小雨そほ／＼身にしみて君を千里にたゞすゝき秋

○行水に思ひをのせてゆかしめむひとりにつらきこの朝の秋

○何故のすさび心を聞く人のあまり冷たきこの秋の風

俳句

第拾　山僧の靈隠寂りや初木の子　花外

第九　菊薫る書院の靈の寂として　籬庵

第八　松葉焼た跡其處此處よ茸山　竹賀

第七　蜩や千歳の杉天を摩す　如風

第六　怪鳥の鳥ある斷崖菊の花　鐵舟

第五　瓢は枝に老松の間茸あさる　海南

第四　日は西に蜩の聲頻りにす　如風

人位　岩頭に佇む流人雁渡る　鐵舟

選者云ふ　絞る囚衣の袖の露けき

地位　毒茸の路にちられて哀れ也　葦洲

選者云ふ　世に容れぬ身の成の果

天位　漁笛吹て動かぬ巨船霧の朝　竹賀

選者云ふ　日和も重ふ成りし海原

◎選者吟

霧深し重疊の山巒寂として　丹葉

帆柱の林立す處雁渡る　同

菊の香や讀書羅く机　同

蜩や歸心さながら矢の如し　同

天狗茸鎌杉のもと滑らかに　同

外事一束

△獨國　戰艦ゾベルト號の彈藥庫爆發し十九分間に沈沒す溺死四五百名惨也

△伊國　愈トリポリに派兵し艦隊も同地に向出發す大使は本國引揚の準備し

△歐州　株式市場沈衰す獨逸兵間に仲裁せんと結局土伊妥協し事無きを見ん

△突然　倫敦電報はトリポリに排伊運動起り土人伊國汽船を捕獲し射殺すと

△獨逸　公使長春に駐る獨逸武官を東三省に傭聘配置する準備なりと風聞す

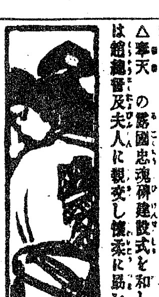
△支那　總水分を排除し總督改良して總出增さん實天津商業會議所協議すと

△奉天　の露國忠魂碑建設式を和し露は館總督及夫人に親交し懐柔に勗むと

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

本紙定價　一ヶ月金五十錢　[illegible]
廣告料　[illegible]
月曜日及び大祭日の翌日は休刊
發行兼編輯人　高木久一郎
印刷人　松久[illegible]
發行所　京城新報社　京城西小門通　電話[illegible]
仁川支局　仁川宮町三丁目　電話二一一番
東京支局　東京市京橋區南佐柄木町七番地

召使れ初　第百五十七回　黒法師



『れ中門まではれ庭傳ひ、旦那樣、恨みを籠めさせられたれ匕首、袖に包んで忍びまする』とれ察は沈着ある聲なりき

『さすがは武士の娘、乃の魂に見處ある、私は今から御前樣れ目通り、れ道穢れ殘なされた、この者付を参らする早やれ退に間もあるまい、御檢視は迫ての事、さらば……』と若江は心あり氣に『思ひのまゝ爲させませ』

『辱うござります』とれ察は再び平伏しつ、假し本望は遂げますも、下司の身の恐れ多く、れ歷々衆に敵對せし罪科、た上御立腹それはかり、心に繋りますれど忠義の二字に替わん樣無く、一念唯旦那樣れ恨みを受け繼ぐでござります、後々好きに御計ひござりませ』

『後々を懸念しやるな、國尾樣あらするわの、御前樣在らするわの、忠義を守護の神々樣あらするわの』と若江は力を添へる樣に『只思ふ的を向いて眞直に矢を射るぢやわの』

『よきに、れ願ひ申し上げるでござりまする』と端女には二となき行儀、端女には二人となき沈着き』あなたばかりをれ力に致しまする』

若江は空き勝薫の居に、一滴の水一掬の涙、賴母しげにれ察を見送りて、そこ／＼に出で行きぬ、後の懐にはれ察が心を籠めて認めたる上書あり、その中には、今日の歌合に澤野が高く讀み上げたる兩中間變の古句は、全く我身のさし上げたるにはあらず、誰人か故意に我身を傷けんとして、斯る惡謀を露したるならん、物の數にては無きも、自作の腰折は誰樣かの御手の中に殘りあるべければ、御詮樣を願ひ奉るあまりの、悲しさ口惜しさに、眼も昏み、心もくらみ、澤野樣れ草履を履き違へたるは、御場所が御場所柄我身一生の過失、まことに取返し付くまじき過失、乃の爲めに相生ぞの惡口、盜人の惡名を受けてのめ／＼御前に仕へあらん面皮も無く、されはとて御暇願ひ奉るとも身の濡衣を乾すよしなければ、一生涯を涙の中に送る外無し、斯して有れども無きが如き年月を過さんよりは、切て御殿の露と消ねて、心の潔白を見せ奉らん、海よりも深き御前樣大恩を反古にして、その千萬一をも送り奉らず、空しく乙に命を捨つる心の中を不憫とも思召せ、身は此のまゝ朽葉となるども、魂魄は現世に殘りて、富貴姫樣御身を守らん、との深き意味を繰り返し／＼認めありき

まことに此の上は、熱血の牢をこの上書に賤ぎ、熱血の牢をれ察への遺書に注げるなり、れ察は若江の出で去るを入口まで見送りたるが、やがて以前の處へ返りて、れ道の骸に白綾の襠衣、着せかけ、枕元に墨繪の屏風、樒の葉線香の葉、心の露を手向け終りて

『さぞ御無念でござりませう、始終の事情はれ犬小供衆れ物語に聞いてござります、年頃日頃の大恩、報ひ奉るは、れ恨みの晴らせたこのれ匕首に、彼人の血を注ぐ外ござりませぬ、御靈今も邊に殘らせ在しまさば、察の爲んやうを御覽遊ばしませ』

亡骸の前に平伏して、同じ心を幾度も告ぐる頃、遠くに鳴る時計の響き、早や末の下刻なるらし、御退去は申の上刻、さすれば今の間、今一刻の命、後れてはなるまじ、今日を過して何日望みを遂げんやう無し、さらばでござります、れさらばでござります、追付け御後を追ひ行くでござりますゆゑ、三途の川の渡し場に御待たせござりませ、御待たせござりませ』

上海へ旅行中之處歸省
岡田榮

京城新報

敬神思想の涵養

昨本紙東京電報の傳ふる所によれば、「內務省にては近年敬神思想の鼓吹をなすと共に神社社殿の修繕及び境內の擴張等を行はしめ之を奬勵するに神社共通金の融通を爲しをりしが來年度よりは一層其完きを期するの目的にて共通金を增額すべし」と、敬神の事たるや官邊よりの鼓吹を待たずとも、日本帝國臣民の腦裡には必らず此思想のある可き筈なり。而かも神社なるものは、國民が神德報賽の場所として尊嚴の上にも尊嚴を保ち、以て祖宗の神靈を顯揚することに盡すべきは、國民として造次顚沛の間にだも忘るゝことを得ざるなり。然るに政府が敬神思想の鼓吹に努め、神社の尊嚴を保たしむ可きを奬勵なしつゝあるは、素より政府として當然の事なりとは云へ、一面には、我國民の敬神思想に缺陷を生ぜしものあるを認められしにあらざるなき乎。若し吾人の想像に誤りなくむば、これ國家のため慨かざらむと欲するも能はざるなり。

惟みれば、我國民が現に世界無比の國體を保維し、祖神天御中主大神が降臨ましましてより今日に至るまで、儼然として獨立帝國の稜威を毀損せられず萬世一系の皇統を奉戴して、以て民族的血液の之と共に永遠無窮なるを表示し克く今日の强大國を成せる所以のものゝ實に、我祖宗列聖の絕大純美なる光輝と威化に職由せずむばあらず。然り而して明治維新の鴻業も實に此に依て大成せられ、爾來駸々として長足の進步を見るに到りしも又誠に之に依らざるはなし。況んや我國民が劍光彈雨の中に立ち淸露二强を敗り百戰百捷の光榮を世界に耀かせしもの亦我祖宗列聖の光彩と威靈を崇仰せる國民の思想即ち敬神思想の發現に外ならざるに於てをや。世界に國を建つるもの多しと雖も、我祖神の如く光彩奕々、幾千年の後までも天地を照破し來れるものは、之を他に求めむと欲するも得ざるなり。然れば我國民たるものは益々祖宗列聖に對する敬仰の念を深くし、而して國家の光榮と國民の福祉を增進せしめざる可からず。これ吾人のみならず國民として齊しく念はざる可からざるものなるが、茲に吾人が警惕るべきは、今や物質的文明の極盛に際し、國民の敬神思想が不知不識の間物質的に傾かむとすることなきやにあり。苟且にも敬神思想の缺陷を見ることあらむか、安んぞ日本民族の光譽を持續することを得んや。之を以て吾人は國民倫理の大本を祖神天御中主神に置き、政治宗教、教育其他有ゆる制度に至るまで悉く、天御中主神を中心として其運用をなすに至らむことを國民一般に對して奬めざるを得ず。偶々內務省の敬神思想鼓吹の報に接し吾人の所懷を提示す、讀者以て如何となす。

委員に任命し又故西村治兵衞氏の補缺として京都商業會議所會頭濱岡光哲氏を新任する筈にて手續中なるが倘山本藏相は前勸銀總裁として委員たりしが右は後任の決定を待つて更迭す可し

東京電報

▲伊國宣戰を布告す

伊太利國政府はトルコ國政府に對し二十八日迄にトリポリ占領の承認を要求したるに土國政府は之を拒絕したるを以て伊國政府は遂に宣戰の布告を發したり

▲土耳古の對抗 (ローマ特電號外再錄)

伊國政府は開戰を布告すると共にトリポリーに軍隊を上陸せしめ土耳古政府は增兵して之に對抗をなし將さに兩軍の火蓋は切られむとする程に切迫せり

▲關釜貨物聯絡船

鐵道院にては十月一日より關釜間貨物專用聯絡船として神護丸を使用するに決定せり

▲奉天に勅任總領事

奉天總領事館は對外交上極めて重要の位置となり旁奉天總督との釣合上總領事の地位を高むる必要あるを感じ豫に官制を改正し勅任總領事を置くに決し駐露大使館附參事官落合謙二郎氏を任命することゝなりたるが現任小池總領事は阪田氏に代りてロンドン駐在を命ぜらるべしと云ふ

▲米人に謁見仰付らる

今回來遊の紐育日本協會々長ラッセル氏及同會員ホルトは本日午前十時臨時大使スカライ氏同伴參內 天皇陛下に拜謁ラッセル夫人は 皇后陛下に拜謁仰付られたり

▲臺灣糖價高騰す

臺灣に於ける砂糖の被害平均二割七分減したために糖價二割騰貴せり

▲生產調査會開期

內務省にては十一月生產調査會を開會し各種重要問題を諮議する筈にて目下調査中なるが同會委員中內閣更迭の結果當然の結果として異動を生じ小松遞信橋本大藏床次內務の各新任次官を

▲兩陛下竹田宮に御下賜 竹田宮妃昌子內親王御誕辰につき兩陛下より御祝品を御下賜あらせられたり

▲竹田宮妃殿下御誕辰 三十日は竹田宮妃昌子內親王殿下第二十回の御誕辰日に付き午前十時より德大寺侍從長渡邊宮相香川皇后宮太夫以下宮內省高等官並御用掛一同の祝賀を受けさせられ正午諸員に午餐を賜りたり

▲竹田宮の御西下 來る十月三日長崎三菱造船所に於て二等巡洋艦矢矧進水式擧行に付き御名代竹田宮恒久王殿下には福田御付武官を隨へさせられ三十日午前八時新橋發御西下相成りたり

▲大演習と通信機關 陸軍特別大演習は來る十一月福岡縣下に於て擧行に付き遞信省にては久留米市を中心として各地に電信電話を假設し又郵便物遞送方法に付き特別取扱を開始する計畫にて目下其假設地點並に郵便物取扱規定に關し陸軍省と打合せ中なり

▲退職官吏の昇位 前警視總監龜井英三郎前司法次官川村讓三郎前大藏次官若槻禮次郎及今回豫備仰付られたる招澤少將北川少將渡邊少將寺岡軍醫總監に在職中の功勞を思召され夫れ〳〵昇位の御沙汰ありたり

▲佛艦爆沈の原因 佛艦爆沈の原因は火藥の自然爆破なりと聲明されたり

▲討蠻隊と死傷 討蠻隊三十日迄に九十餘の死傷あり

雜報

●總督歸任と事務

寺內總督には來る三日滯京中の小松長官外渉少將兒玉局長の一行を隨へ東京出發六日當地着の事に決定したる由にて自今緊急を要せざる問題は其後總督府に保留し總督の歸任を待ちて決すべしと

●鐵道用地面積

朝鮮總督府鐵道局が現今鐵道敷地及用地として所有せる坪數は京釜線四百六十八萬一千坪京仁線六十二萬六千坪馬山線百十五萬八千坪京義線九百八十三萬坪兼二浦線五十二万六千坪碧監渡線十万二千坪平南線四十万六千坪なるが右は全部使用せるに非ず將來鐵道の發達に伴ひ改良工事及復線工事に充つるは言ふ迄もなきが中には改良工事の必要上一時貸借の分もありといふ

●京釜京義勾配改良

京釜線は素と速成工事なりしとはいへ本工事なるを以て比較的改良の點少なきが京義線は最初軍用の性質上假工事なりしを以て改良の點少なからず爾來引つゞき必要に應じて改良を施しつゝあるが就中東林、良策間及土城、汗浦間は勾配甚だしく從來四十分の一なりしを百分の一に改良すべく豫てより工事に着手しつゝあり十月一杯を以て竣成の豫定なるが竣成の曉は將來歐亞大陸との聯絡上權衡を保つを得べく又京釜線は太田大邱間の急勾配五十分の一なるが之れが改良工事は多大の費用を要するを以て豫算の都合上急速改良を施すことは困難ならんも行く〳〵は京義線と同じく百分の一の勾配に改良さるゝことゝならんと因に急勾配百分の一は世界各國を通しての標準なりといふ

●京仁間複線工事第一

既報の如く總督府鐵道局にては將來京仁間の鐵道線路を復線となさんの計畫あり既に軌道敷設の準備完成し昨今漢江の鐵橋架設工事に着手し居るが右鐵橋の架設は現在の鐵橋と百尺の間隔を保ち工事は最新式にて明年中に竣工の豫定なりと

●各地農銀の成績

度支部調査に係る八月中漢湖、慶尙、平安、光州、全州、咸鏡の各農工銀行に於ける預金總額四百十一萬三千〇四圓にして貸出金總額六百六十萬圓二千九百九十一圓なるが之れを前月に比すれば預金に於て一萬四千九百九十九圓を貸出金に於て二十九萬八千七百三十七圓の增加を示せり之れを各銀行成績別に記せば左の如し

銀行名		前月に比較增減
漢湖農行	預金	五千圓增
	貸金	十萬圓減
慶尙農行	預金	五萬圓增
	貸金	六万圓增
平安農行	預金	六萬圓增
	貸金	三萬圓增
光州農行	預金	二萬圓減
	貸金	一萬圓減
全州農行	預金	二万圓增
	貸金	二万圓增
咸鏡農行	預金	一萬圓減
	貸金	三万圓減

●金融機關の現在

度支部調査に係る九月三十日現在朝鮮各道に於ける金融機關の現在を聞くに金融組合は百六十ヶ所朝鮮銀行本支店併せて十三ヶ所普通銀行本店四ヶ所支店二十一ヶ所農工銀行本店六ヶ所支店三十ヶ所合計本店十一ヶ所支店六十三ヶ所なりと云ふ

●關屋學務局長談

△教育令と樞密院 朝鮮教育令を樞密院の議に附せずして發布せしは余の關する所にあらず該令は十月一日より施行する事となり居たる故取急ぎ發布したるは事實なり然し該令實施に伴ふ教員官制の制定が遲延せしを以て施行期日は一ヶ月許り後るべし教育上の根本計畫は教育令制定と共に一段落を告げたるわけなれば今後に於ける計畫實施に付て腐心しをる次第なり

△法學校廢止問題 鮮人の官公吏となる者には是非共法學の智識を必要とする者なれば名稱又は內容の變更を來す事ありとするも法學教育の實体は依然繼續せしむるは勿論なり但し法學教育を受けて官公吏たる事を得ずして徒食するが如き者を作るは最も不可なれば卒業の際は大に此邊に留意せざるべからず

△鮮人義務教育 は目下の處問題となり居らず朝鮮全道の租税收入六十万圓位にして內地の一縣の收入にだも達せず如此貧弱なる國に就學義務を課するは殆ど問題とならざる也然し乍ら永久放任すべきものに非れば豫め本問題に就て攻究し置かざる可からさるは無論なり

●ジ博士の殖林觀

入京中のジヨルダン博士は獨り水產のみならず山林に關する造詣も又深く二十九日某訪問客に語るらく朝鮮の如き地にありては殖林の急務たること論を俟ず日本の新殖民地に對する政策は目下の殖林狀態を通じて是を觀測し得るものなれば予は多大の趣味を以て當局者に方針の說明を乞ふと同時に附近に於ける林野の狀況を觀察せんと欲すと云々

●ジ博士の日程變更

ジヨルダン博士は一日出發平壤、鎭南浦地方視察の筈なりしが殖林狀態視察の希望あるを以て日程を變更し平壤行は中止

●ジ博士仁川行中止

ジヨルダン博士は三十日下仁の豫定なりしが調査其他頗る繁忙なると長途の旅に夫人の疲勞甚しきを以て下仁を見合たり

●平和博士講演 大要

既報の如く日本基督教青年會の發起に係るジヨルダン博士講演會は三十日午後四時廣通館に於て開會されたり定刻にいたるや丹羽幹事長挨拶を述べ次で飯島氏起つてジヨルダン及玖馬兩博士を紹介し終つてジ博士の講演に移りたるが聽講者は石塚長官渡邊高等法院長パリス博士等を始め四百餘名あり六時閉會したり博士の講演左の如し

戰爭に就て國民が莫大なる費用を負擔し尙進んで各國が軍備擴張に努むる傾向の盛んなるは決して喜ぶべき現象ではない這は何等かの方法を設け武力に訴へずして平和的に解決されたきものである尤も未だ文明の域に達せざる國にあつては或は戰爭の必要があるかも知れぬが既に文明の域に達した國に在ては戰爭の不必要は勿論平時に於ても軍備を盛んにする必要はない縱令名譽ある戰爭にしても避けねばならぬ凡て戰爭なるものは其の結果が假りに良いにしても一面に於て必ず大なる弊害の伴ふものである而して文明前にあつては隣里鄕黨互に爭鬪を試みて顧みざるものありしも文明後にあつては斷じて戰爭を斷たねばならぬ假りに之れを一家族に譬ふれば事の起る毎に父子相爭ひ兄弟相鬩ぐ等の事は極めて野蠻の風習であつて之れを妨ぐに平和的の手段を以てし互に相讓的の態度に出づれば一家は常に圓滿であつて爭ひ事などの出來る氣遣はない一家既に然り一黨一鄕一國とても之れと同一たるべきは勿論であるされば國と國との關係も夫れと同じ事一樣の人類が一樣の組織の下に生活して居る以上は戰爭の起るべき道理はなく又戰爭の起るとしても必ず第三者に依つて解決されざるべからざるものである又戰爭は國民の元氣を鼓吹するといふ人もあるが這は大なる間違である戰爭の勇氣は平時に於て養はれ偶々戰爭の背景に依つて國民の元氣が面のあたり現はるゝのであるされど其の戰爭は敵地に入つて利を得たるを以て國家の利益となつたかも知れぬが現今はさうでない。

昔は戰爭も簡便で被害も尠なかつたが近頃は武器も大きなのも出來し且益々精巧を極めて來たので其損害も甚だしい米國の十六吋砲は一發よく一聯隊の兵を殺し一彈八千圓の費用である、還麼な工合で歐州は毎年一億万圓を軍備に投じて居る、此莫大な經費を以てそして維持されて居る平和は眞の平和ではない

米國と加奈陀との間には三千五百哩の間一兵も備へず、要塞も築いてない、然かも加奈陀も米國も些つとも不安を感じないものである米加の間には色々の交渉もあつたけれども國境を警備した事はない。何等の武備をしないのが即ち眞の平和である(未完)

●京城民會議事

京城民會は二十九日午後三時開會出席議員十八名にして午後六時閉會議決事項左の如し

(一)齊坡傳染病院は經費の都合上漢城衞生會所管の順化院と併合することゝし當分閉鎖す

(二)高等小學校に入學兒童多數のため校舍の狹隘を告げ來りしを以て總督府所管の慶熙宮內の建物を借入れ千四百餘圓の修繕費を投じて高等小學校假校舍となし南大門日出兩小學校の高等科生徒三百五十名を之れに移す事及び修繕工事費は豫備金中より支出する事

(三)前回民會に提出されし四十三年度決算報告の件は都合上十月二日開設の民會まで延期し、皆川議員より左記の建議ありたり

京城府廳より民團役所前に至る迄の道路を南大門通り迄擴張し其敷地に存在の家屋を取拂ひ此處に小公園を造り兼て非常の際に於ける市民の避難所となすの趣旨にて該擴張敷地を總督府に買上を請願し其費用の幾分を民團に負擔する事

右建議案に對しては數名の贊成者あり議題となり委員に附托する事として山口太兵衞、大村保太、古城梅溪、中村再造、原勝一、大村百藏、皆川廣濟の七氏委員に指名せられたり

●商議會頭近々決定

會議所會頭撰任に就ては市原總裁不在の爲め其の決定を見ざりしが愈々二三日中役員集合の上決定すべしと

●高等科移轉期

別記の如く二十九日の民會に於て高等小學移轉の件可決したるが目下移轉すべき生徒數は三百餘名にて十月二十日前後には愈々移轉始業の運びに至るべしと

●京城競賣會社現狀

該會社は去る十七日開業以來本日迄に定期會(一三八の日)三回臨時會二回にて實買高總計一萬三千圓に達し豫期の繁盛を呈し居れり重なる賣品依賴者は三十餘名にて金額の最も多きは古着類なり其他家財家具も尠なからず、臨時會は書畫骨董を主とし天津關東州邊よりの依頼多く之亦買投合圓滑に進み居れりと

●ベ少將昌德宮參觀 ベルソン少將は明石少將同伴三十日午後二時半昌德宮に伺候し秘苑其他限なく參觀せり

●ベ少將總督府訪問 二十九日夜入京せる北清駐屯軍司令官ベルソン少將は明石少將同伴本日午前九時總督府を訪問し山縣政務總監に面會せり

●ベ少將の出發 二十九日夜入京のベルソン少將は公務の都合あり永く止る能はざるを以て十月二日午前九時南大門發內地に向ふ由

●藥師川隊長巡視 藥師川京城道警務部長は管內警務狀況視察の爲め三十日朝南大門驛發永登浦、金浦、江華島、仁川等の各地へ約九日間の豫定にて出張したり

●武田報知特派員歸京 東上中なりし報知新聞特派員武田卓爾氏は卅日午前南大門着列車にて歸京したり

●漢湖農銀論山出張所 豫て開業準備中なりし漢湖農工銀行論山出張所は愈々十月一日より開業すべしと

●南大門小學校運動會 南大門尋常高等小學校にては十月一日(日曜日)午前九時三十分より慶熙宮に於て秋季大運動會を開催す

●漢城商業學校運動會 官立漢城高等學校は十月四日午前九時より奬忠壇に於て秋期運動會を開催す

公人私人

▲大橋鐵太郎(總督府判事) 二十九日山本旅館

▲伊藤祐次(陸軍一等軍醫) 二十九日巴城館ホテル

▲武田卓爾(報知新聞特派員) 東京より卅日朝歸京

▲岡田榮(辯護士) 二十九日上海より歸京

▲緒方得造(陸軍少將)二十九日釜山行

▲松村眞一郎(法制局參事官) 二十九日釜山行

▲河合鍬太郎(林學博士) 二十九日釜山行

▲赤松梅吉(釜山瓦斯會社支配人) 二十九日釜山行

▲井上竹治(藤田組技師) 二十九日釜山行

▲阿部安積(同技師) 二十九日釜山行

▲治外法權▼

アフリカのトリポリ占領問題に就いて伊太利土耳古が大分睨み合つて居つた、トコロで土耳古の態度に就き伊太利がシビレをきらし相手方に向ひトウトウ宣戰の布告をした▲既に伊國にして宣戰の布告をした以上、トルコとてダマツて居る譯には行くまい、ソコでドンドーンと始まれば歐洲の外交界はチヨツト賑かになるのだ▲イヤ外交界許りぢやない、伊太利には同盟國があつた筈だ、而して該同盟國は袖手傍觀も出來まい▲伊土戰爭が愈始まつたとする、第一に懸い影響を受けるのは歐洲の金利だ、伊も土も有名な借金國、借金を質に置いて軍費を作るのだから、たまらないね▲尤も昔から借金を質に置いて軍費を作つた戰爭が、永く續いた例はない、ダカラ今度の伊土戰爭も案外に早く片附くだろうよ▲平和博士ジヨルダンが廣通館の演壇に立ち例の如く平和主義を宣傳して居る當日、本紙の伊國宣戰布告の號外が出たのは、コントラストが一寸奇拔であつた▲人は平和博士に向かひ平和主義の宣傳は迂儒の閑業なりと云はん、併かも博士より言はすれば、伊土戰爭などが出來るから益々國際仲裁裁判の要を感ずるのだと▲朝鮮教育令は樞密院の諮詢を經なかつたのだとは、一樞密顧問官の談として內地新聞に因り傳へらるゝところなるが、サはや迄に急を要せぬ教育令を樞密院へ廻はさなかつたのはドー云ふ譯だ▲松寺檢事正曰く憲兵警察即決令に由る處分の大部分が正式裁判によりクツガエされたるは統計上の事實だ、併し此頃では憲兵の處分したるものゝ中不當と認めしものは理由を詳述して之を返付し▲或は集會等の機を利用して法律概念の注入に勉めつゝあるを以て、憲兵側の手によつて處分せるものと雖も、當を失する事尠なきに到れりと。



●郭內新町口入屋の卅分

白面子

淀屋

新町からの歸りがけ本町六丁目叢ろばの邊の小路を見ると口入業淀屋の看板と軒下の男女周旋所との大提灯が眼に着く此附近には以前は小料理店が七八軒もあつて夜に入ると隨分賑はつたものだが大和新地に移轉した以來淋しさうである、序だ、片附けろと「御免なさい」と戸内に入つた剎那耄醜して居た二名の婦人の內の一人は僕の足音に眼を覺して矢庭に物蔭に隱れ樣と試みた、が駄目である、僕は既に其の瞬間に彼女の何者であるかを見て取つたのである、而して彼れも遁れぬ所と觀念してか「オヤマア」と云つた限りで其所へ座り直した、此の女は以前は太平町二丁目の小料理屋永樂亭の酌婦だつたれ菊だ故郷は筑前博多だが親の爲めとあつて昨年十二月龍山桃山の紀の國家に鞍替して公然第二種藝妓と成つたと迄は知つて居るが夫れが何うして口入屋淀屋の店頭に燻轉んで居るのかは知らないが現に角本紙の三面に御厄介になつた事もあり白面子の新聞屋なる事も知つてる女であるから面白くない哩と思ひ乍ら「主人は」と問う、れ菊は傍に寢込んで居る婦人を「女將さん〳〵」と呼覺す、何んな夢を見て居たのか女將さん頗るの寢呆眼を擦り〳〵「入來しやい何か御用ですか……主人は外出して居りますので周旋の方のお話なら私には判りません」と面倒だと思つてかキッパリと斷られたので「左樣なら」と街路へ出て扨考ふるに彼の時以來周旋業者の宅には婦人を泊らせる事や藝娼妓を預る事は嚴禁されて有ると聞いて居たのに新町の別庄でも預ると云ひ此家では現に預つて居る所を見ると夫れは嘘であつたのであらう、れ菊は其の後中の新地の梅の家に住込んで辛い勤めをして居るのである。

中川口入所

夕飯を濟して家を飛び出したのが午後の九時過ぎ某辯護士殿が花月の藝妓二人と仲居とを伴れて青木堂の西洋料理を食べに登る背後姿を見る、藝妓の一人は福龍と見た白面子白ばくれて登つて呉れ樣かと思つたが先を急ぐので見逭して旭町三丁目に中川口入屋を訪ふ、九時五十分だ上り口の土間には十數個の柳行李が積まれてある、三十前後の女將らしい婦人と二十二三の店員と主人らしい人と三人とも寢轉んで何やら話して居たが僕の『今晩は』と掛けた聲に鎌首を上げた店員らしき男『何か御用で』と面倒臭さうだ『奉公口はありますまいか』と云ふと店員威丈高になつて「ダメ、ダメ男の奉公口は一軒も無いです、歸國した方が御徳用ですよ」僕は酷い事を云ふ野郎だなと思つた(つゞく)

●元學監窃盜を働く

▽泥棒に趣味を有す

原籍山口縣熊毛郡八代村百十九番屋敷戸主士族僧成の弟賀家由雄(四六)は相當資產ある家に生れ何一つ不自由なき身とて十分教育を受け後鄉里に於ても校長まで拜命し昨年まで天安に於て學監たりしが性來の慾張りにて人の物さへ見れば欲しく成り遂に身分をも打忘れ屢々惡事を働きたる事實ありしに更に由雄は本年五月天安の學監を休職となりし以來同縣人たる仁川宮町二丁目市川武吉方に至り寄宿し職を索めつゝありしが市川方に於て由雄の來りし當時より間もなく金時計、金指環、金メタル、衣類、履物等屢々窃盜の難にかゝるより其筋に屆出たるも一向犯人不明にして紛失品は尚止まらざるとの事に坂下今井の兩刑事は不審を抱き由雄の擧動を探査し數日前任署に所持品を取調べたる處贓品の一部現れたるより直ちに本署に引致し嚴重に取調べたる處遂に自白に及びたるが尚昨年中品川遼亮より手風琴を借受けたるまゝ返濟せず屢々品川に督促されたるも一向平氣で最早返濟したる筈なりとて言張り居たるに該品も同じく所持品の內より露見したりと三十日檢事局へ送られたり

●我子を養子に貰ふ

▽奴亭の老爺の妙案

原籍大阪市西區九條町九十一番地當時仁川新町一丁目料理店奴亭事村田熊吉(四八)は見るからにピカ〳〵天窓の電氣燈宜敷と云ふ親爺だが年にも恥ぬ好色親爺で去四十年頃より雇入たる女中原籍熊本縣天草郡川原村城本嶋生れの岩崎なを(二一)と云ふ自分の子供の樣な小娘に手を出し女房の目を忍びては情を通じ居たりしが何日しかれ〳〵をは懷姙の身となりたれば熊吉若し女房に知られては一大事と表面はなを解雇したる事とし其實花町二丁目衆樂の裏手に一戸を借受けなをを住はせ娩與を買ね居たるが去五月二十日なをは產の紐を解き玉の樣な女兒を分娩したるより熊吉此の兒の處分を如何にせんと思案の末一策を案じ出し女房に子なきを幸に或日長火鉢の差向ひに成し女房に向ひ赤ん坊を養子に貰ふては何うかと相談したる處女房は大喜びにて素性の好いのなら小さい內に貰ひ受け眞實我が子の樣に育てたいと云ふより熊吉コハ圖星妙案的中したりと雀躍しれなをには金百圓の手切金を出し其子はあき子と名つけ熊吉夫婦の子として屆出で萬事一段落を告げ鎬鎬〳〵と喜んで居たるに戸籍上虛僞の屆出を爲したる事實其筋の探知する處となり二十九日熊吉は告發せられたる爲め化の皮がヒンメクレたので女房怒るまいことか「れ前と云ふ人はなア、れ前と云ふ人はなア」

●死んだと思つたれもめ

▽は京城で娼妓稼業

大和新地桃山遊廓に移轉したる第二種藝妓中には既得權に因り酌婦の鑑札を其の儘第二種藝妓の鑑札に引き換へられたるものなれば親の承諾書なき若くは年齡不足の者もありて屢々悶着を惹起しつゝあるが茲に大和新地大和樓の愛媛縣喜多郡南久米村大字松尾七十五番地松下龜吉二女ユメ(二三)と云ふは五六年前下女奉公の目的にて渡鮮したるに惡周旋屋に誘惑され太平町の二葉亭旭町の實來亭大和町の大和亭等に鞍替へしたる女なるが鄉里に於ては五六年間も安否不明なれば死亡したるやも斗り難しと家出したる日を命日と思ひ諦め居たりしに此頃に至り突然何者かが戸籍謄本を取寄せし事を耳にせし親元にては保護願出したるに樓主は前借金があるとてユメを說付け與の深月樓に鞍替へさせん魂膽中なりし事發覺したるより取押へ親權者に引渡したりと

●佐藤敬雄死す

堀力太郎を相手取り訴訟を提起したる佐藤久雄の父敬雄(三八)は憐れにも萬斛の恨みを懷いて二十九日小倉病院に於て溘然不歸の客となれり愁緒綿々として盡きず靈や何地と辿るらんか

●電車大に奮鬪す

▽浪華に負けずに轢く

江原道金城郡東面水洞木商崔東鎭(三〇)は二十九日午後七時頃龍山印刷局前にて誤つて第八電車に轢かれ左肋骨を折り餘程の重傷なり全治迄殆んど一ヶ月を要するの事注意肝要なり『電車を見たら死ぬと思へ』

●又々仁川の出火

二十九日午後十一時篠突く雨の降りしきる其際仁川本町三丁目二番地貿易商淵邊人ホールシャム氏の經營に係る世昌洋行事務室より失火し直ちに常備隊驅付け、十分間にして大事に至らず鎭火せしめたり原因は雇鮮人が掃除の際裡燈燭を用ひ其儘置忘れたるより出火せしならんと損害は醫藥品見本のみの燒失なれば約百五十圓位ならんと云ふ

●牧師の門に棄兒

西部小平洞六十七統六戸基督教傳道師祭聖錫方門內に二十八日午後七時頃生後八九ヶ月を經たる丸顏の愛らしき女兒棄てありしとて屆出に接し西部署より出張子供は京城府廳に引渡したりと原因は生活困難の者養育出來ざる爲め相手が基督教信者なれば養育して呉れると思ひ棄てたる者ならんと

●自殺後聞取消申込

旭町土木請負業者小川安藏妻とめが自殺後聞として三十日の本紙に掲げたる記事に對し右小川安藏來社し全然事實無根にして現に黑川組の店員たりし事なし紐子鐵等より金錢を引出したる事は元より南山町の材木屋とは曾て取引したる事なければ負債のあるべき理由なければ全部を取消されたしとの申込みありしに付き取消す

●弓術秋季大會

當地若草町一丁目郵便局橫正己館に於て十月一日午前十時より京龍台同秋季弓術大會を開催すと云ふ「秋風や白木の弓に絃張らん」飛箭秋風を斬つて妖魔爲めに影を屛めん森嚴の氣鋩に迫るを覺ふ

●コソ泥捉はる

住所不定の趙寅俊(三五)は本町三丁目中村再造氏方雇人石橋近次郎所有の銀側懷中時計外一點を窃取し南部署に捕はれ取調中

●弱い者苛め

旭町三丁目四十五番戸鐵藥職新井政太郎(三九)は燒栗賣り梅聖文(二三)を毆打し南部署に突出され說諭放免せらる

●角南呉服店の大賣出

兎足袋發賣元なる當地本町五丁目の同店にては今一日より大賣出と開始し尙ほ本日の客には特に茶菓の饗應をなすといふ

日曜集會

●京城基督教會(相生町) 同教會に於ては一日午前十時より宗像鴨四郎氏の說教「祭司長の庭に於けるペテロ」夜八時より松本雅太郎氏の傳道說教「求道」ありと

●メソヂスト教會(旭町二丁目) 同教會にては一日午前九時より日曜學校同十時より石坂龜長の禮拜說教、基督の犧牲」午後七時半より特別傳道「何故祈禱は必要なりや」ありと

●微笑會(初音町) 一日午後三時より臨濟寺に於て碧巖會例會提唱ありと

●パゴダ公園の奏樂 鍾路パゴダ公園音樂堂に於て例の如く一日午後六時より軍樂隊の日曜奏樂ありと云ふ

●演藝だより

▲壽座 大好評を博しつゝある後藤良助一行十月一日二日兩日の代狂言は篠山嶺葉作『晝ろぬ恨』全十三場にして重なる配役左の如し

小林健太郎(淨津) 猛の姉かつ子(松下) 國村猛(藤野) 同妻照江(藤田) 仙波八郎(內田) 相川令孃うた子(北子) 陸軍少將仙波五郎(後藤良助)



壽座に出演する松下彦次郎

▲歌舞伎座 エムパテー活動寫眞班の活動寫眞は十月一日より映畫を取替へ最嶄新なるものを映寫すべしと

▲佐久良座 日韓瓦斯電氣株式會社員相互の設立に成る共濟會の娛樂演藝會を十月一日二日の兩日會社創立三週年紀念の爲め午後五時より同座にて開催すべし盛會なるべし

▲浪花館 吉川今勝一行一日の讀物は左の如し

晝の橫綱(勝丸)花房政彌(孤舟)慶安太平記(樂聞)水戸仁政錄(光廣)恨のピストル、紀尾井阪爆烈彈(今勝)

●寶六庵の松茸飯

寶六庵にては此度松茸飯を調進すと云ふ松茸は獎忠壇上松林に發生せるを毎日露の干ぬ間に狩りて之れを用ゐ決して他所のものを用ゐざるが自慢なりと猶ほ同庭內には數多の栗樹ありて目下盛んに笑みこぼれつゝあれば初茸狩を兼ねて一日の淸遊を恣にするを得べしとぞ

▲笑み栗の調理法▼

▲栗きんとん 栗の鬼皮を去り、澁皮を厚く剝き、水にて好く洗ひ、少時水に浸し置き、二三度水を更へて充分にアクを拔くのですが、其際手荒く扱ひますと、煮ない前から大かた毀はして仕舞ひますから、矢張り笊に入れた儘澤山の水に浸して置き、更へるときにはそッと揚げるやうにしなければなりません、一升の栗を煠でるには、三升ほどの水を沸かして置き、そこに少量の酢若くは明礬を少し入れますと、色が好く揚ります、火加減は弱く、湯は二三度取換へて煠でるやうにするのが宜いのです、但し酢なり、明礬なりを入れますのは、最初の時だけで、水を更へてからは入れないでよいのです、斯樣にして本式に拵へるのならば、皮を煠でた栗の三分の一ほどを裏漉にするのですが、甘藷を用ひるならば、皮を剝いて細かく切り、水で好く洗ひ二三度水を換へて煠で、裏漉にしまた其量は栗一升 甘藷三四百匁でよろしい、搾て栗は灰引砂糖で弱火にかけて煮、味淋と鹽とを入れて味の加減をなし幾から衣を入れて杓子で昔かにかきまわしながら煮詰めるのです

▲栗の甘煮 鬼皮と澁皮とを剝いて好く洗い、熱湯で煠で、砂糖味淋で好く煮込み、仕舞に醤油少々を入れて味の加減をするのです、これは澁皮を龜甲形に剝くのが手際となつて居ります其他栗を燒いて吸物の材料に遣ひ或は奇麗に剝いた栗を充分に灰拔きをして、細い纖に刻み、鹽と酢とを水に加へて好く洗ひ、淸水をしば〳〵注ぎ、三杯酢の材料に遣つてもよいのです

寺内總督閣下御常用

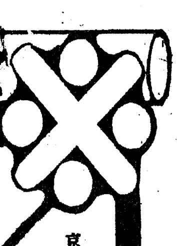
鶴屋木履は如何なもの？



新案特許品で經濟的實用向穿き心地良しきは他に類なし 金貳拾錢以上

京城本町四丁目 鶴屋 電話千五十二番

仁川米穀株式



△實買は秘密に確實を旨とし敏速懇切に取扱
△市價相場は日々入電にて御希望の方へは電話御報申上且引ヶ后は無代で日報高低表配付仕候

京城古市町、南大門停車場前 合資會社 柴山組 電話一二九八番 一六八八番





京城本町五丁目 發賣元角南支店 製造元角南本店

▲呑んで宿酔せぬ酒…………

◎現金で壹升三十錢の………酒

▲呑んで見ればわかる……論より證據

……速くれ試しなさい……今直ぐに……

○御入用の御方は市内は電話其他は葉書にて御照會下さい
○御小賣御希望の御方は御照會ありたし

京城南大門通り三丁目十五番戸

度支部釀造試驗所釀造 酒類發賣元 大一商店 電話一一七二番 電信略號タ一

專賣特許無音石油厨爐は飯湯肉菜乳煮炊沸焼火を起す等即座に辨ずる實用の炊具瓦斯以上の効力ありこ今や滿天下に小原式に限るこ好評を得たり代理店こして朝鮮には辻清金物店一あるのみ說明及定價表は申越次第送附する殊に辻清には金物類は何品に依らず世帶道具に至る迄取揃有之地方より御送金に最安全確實に御著金し通信も無料で出來得振替貯金口座の設金引替小包にても送附し不向の品は何時たりこも取替可申候續々御用命あらんことを乞營業目錄申越次第直に送呈す



京城本町三丁目 辻清和洋金物店 電話九五九 振替口座京城三七九

いろく新荷着

御婦人用

高等小間物は

確實で深切な

建部小間物店に

限ります

(京城本町五丁目電話六五七番)



淸酒白鶴壹升壜詰發賣廣告

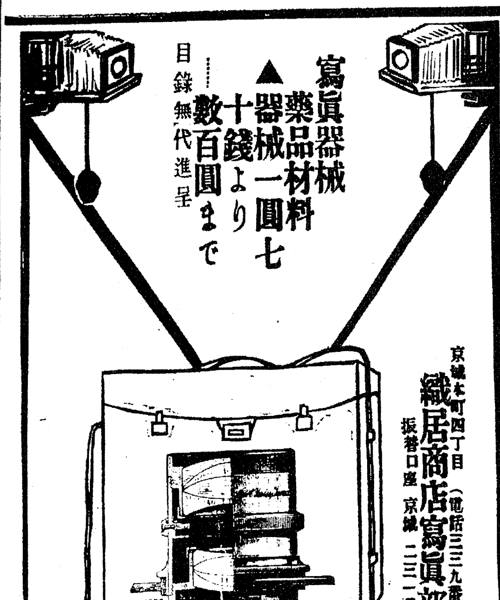
弊店共特約實販の淸酒白鶴印は品質の醇良こ價格低廉こに依て江湖愛飲諸彦の御愛顧を蒙り當京城にても益々販賣數增加候段感謝罷在候就ては今般御得意樣御便利を計り目下母國各都會に流行の壹升壜詰左の價格を以て壹千本限り發賣仕候間何卒御買求白鶴の眞味を御賞用被下度候

◎灘嘉納合名會社吟釀白鶴印壹升壜結 定價金八十錢 特別減價金七十錢

▲壹千本限り

▲但シ空壜一本金十錢ニテ買入仕候

京城特約店 京城本町六丁目 田中支店 (電話七六四番) 京城本町四丁目 前田酒店 (電話七一三番)



寫眞器械藥品材料

▲器械一圓七十錢より……數百圓まで

目錄無代進呈

京城本町四丁目 織居商店寫眞部 (電話三三九番) 振替口座京城一三一番

冬物荷揃

目下新品種々荷揃致し確實大勉强可仕候間續々御用命之程願上候

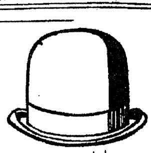
京城明治町一丁目

歐米毛織物類 各種帽子類 其他各製品 御商 丹波屋商店 電話一〇七三番 電信略號(タ)又ハ(タン)

▲尙遠方の御用命に對しては迅速確實に御便利を相斗り可申候

三中井百貨デパート

京城本町一丁目(府廳前) 電話一三四九番



冬物到着!!!

新形帽子類
目利安シャツ類
手袋沓下類
膝掛毛布類
其他種々

歐米最新洋服附屬品
洋小間物類
化粧品類
防寒具各種

最新流行實用向諸品悉皆取揃へ申候間何卒多少に不拘御用命奉願上候



